

(3) ライフサイクルコストの低減
Ⅲ①施設の耐久性向上

無塗装耐候性鋼材の使用

阪神高速道路公団 からと東入路鋼桁工事

【施策の概要】

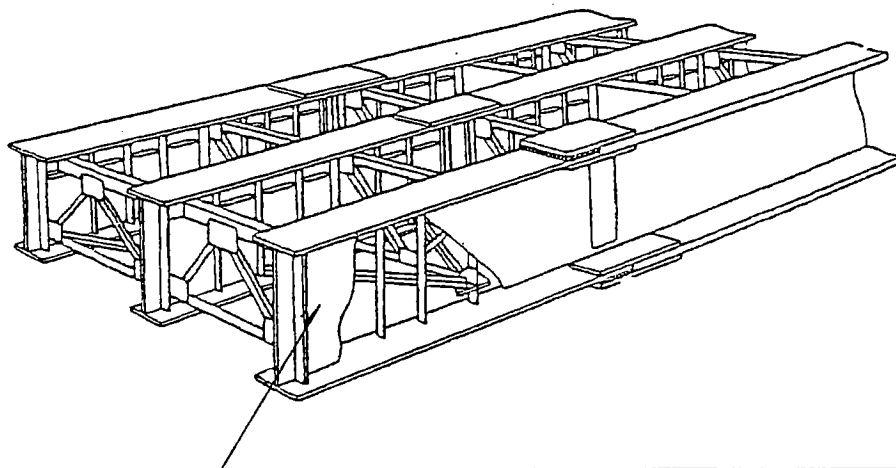
阪神高速道路はその大部分が高架構造であり、このうち上部工の大半は鋼構造物である。この鋼構造物の大きな課題である防錆については、塗装の塗り替えで対処しているのが実状であるが、当公団においても、無塗装で使用可能な耐候性鋼材の採用を検討した。

からと東入路鋼桁工事においては、メンテナンスフリーの無塗装耐候性鋼材を採用することにより、建設当初の塗装及び供用後における塗装塗替に要する費用の低減を図る。

【施策のポイント】

- ・ 耐候性鋼材とは鋼材の表面に特殊な安定錆を発生させ、その錆層が保護膜として働くことにより腐蝕進行を阻もうとするものである。
- ・ 本工事において、無塗装耐候性鋼材を採用することにより、当初の塗装に要する費用削減で、約3%の縮減が図られた。併せて、供用後の塗装塗替費約30百万円（ライフサイクル50年塗替回数2回と想定）の縮減を図る。

【施策の実施状況・イメージ図】



無塗装耐候性鋼材を採用することにより、塗装費や足場費などが縮減される。

・ 上記に加え、

山手工事事務所 北白川工区（東・西行）鋼桁工事 計2件
において、無塗装耐候性鋼材を採用し、初期コスト及びライフサイクルコストの低減を図りました。